

S A ・ ネット大阪ニュース 第 42 号

発行 NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <https://sanetosaka.com/>
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35 大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)内
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL : 080-3040-6336



◆ ◆ 第 19 期通常総会を迎えて理事長の挨拶 ◆ ◆

理事長 村松 秀明

- ◆ 今年も猛暑を迎えていますが、皆様如何お過ごしですか。当法人の 2023 年度活動のご報告、並びに今年度の活動計画について、本紙面を通してご報告させていただきます。
- ◆ 各事業部の活動はコロナ前と少し変化があります。大きくは「おもちゃ学校」が定着してきた事、今年度は 5 年目を迎えます。その修了生の活動が増えてきた事で現在 2 つのグループの活動となっています。又国際交流の活動はオンラインの活動が主になっています。新規の活動として始めた大阪万博共創チャレンジ「幸せの星プロジェクト」から繋がったウクライナ避難民の方々への支援をスタートしております。7 月まではクラウドファンディングで資金集め、具体的な支援活動は 8 月以降に実施致します。
- ◆ 平穏に暮らしている平和な国に、ある日突然ミサイルが撃ち込まれてきて、そこに住んでいる方々が国を追われるという不条理な事が現実には起こっているんです。その事を日本という遙か離れた所に住んでいる我々ですが、よそ事と思わず、主体的に関わる事が日本の平和を維持していく事にも繋がると信じて、この活動を進めて行きたいと思っています。
- ◆ 組織としては昨年に大阪府 S A 連絡協議会に加盟した事が大きな変化です。大阪府全域で活動する仲間と共にシルバーアドバイザーの活動を盛り上げて行きたいと考えています。当法人で行う全ての活動を共に取り組み進めていきます。おもちゃ作りの活動やウクライナ支援の活動にも主体的に取り組んで貰い、一体感を持って活動していきます。
- ◆ 当法人を取り巻く関係団体との関係強化をはかり、コーダイグループの一員としてビジョン・理念の共通項のある部分でコラボしていきます。その為には活動内容も増やしていきたいと考えています。会員各位の積極的な参画をお待ちしておりますので宜しくお願い致します。

ウクライナ支援

- ・クラウドファンディング
 - ・目標達成 30 万円！！
- 次のプログラムへ

決済フォームはこちら



日本語決済フォーム

K's House
Quality Hostels

NPO 助成プログラム

日本に住む外国人と、共にハッピーに。

助成先団体

◆ ◆ 第18期事業報告 ◆ ◆

I 第18期事業 総括報告

報告者：村松 秀明

第18期は新型コロナの分類が5類に分類され、それまでの行動制限がなくなり、それぞれ個人の判断で行動するということになりました。行動制限により低調となっていた活動を活発化させる事のできる環境となりました。一方国際情勢はと見ればロシアによるウクライナ侵略、ミャンマー国軍クーデターから続く圧政、パレスチナ情勢など不条理な事柄が今も世界のどこかで起こっている状況です。日本も又、近隣の危険な国家の脅威にさらされ厳しい状況におかれていると思います。

そんな中、当法人も多文化共生社会の実現という目標を掲げ様々な活動を行いました。昨年に引き続き、障がい者就労支援施設とのボッチャスポーツ交流会を実施しました。また2025年の大阪・関西万国博の機運醸成活動ということで万博共創プロジェクトも継続実施致しました。「幸せの星」プレゼント活動をSGG(英語ボランティア通訳士協会)や大阪城「赤備え隊」を通して多くの訪日外国人にプレゼントしました。

また、日本語教育センター、大阪府高齢者大学校英語クラス、大阪府民カレッジ東大阪校などでも「幸せの星」のプレゼント活動を実施しました。多くの関係団体とのコラボでプロジェクトが進みました。

またそれぞれの事業部におきましてもコロナ前の活動にもどりつつあります。

おもしろ算数教室事業部におきましては、読売クラブでの講座が定着化しました。講師も複数になり、多方面からの要望にも応えられる体制になりました。

おもちゃ学校は4期生を送り出し、新たに会員も増えました。大阪市総合生涯学習センターで活動する修了生のグループが2つになり、子ども工作教室や北御堂でのイベント等を運営しています。

国際交流事業部につきましてはコロナ禍の中で始めた海外日本語学校とのオンライン交流を継続いたしました。

活動を財務面で表す決算内容では今期も繰越金を減らす事無く、健全な決算を打つことができました。

他団体との連携につきましては、昨年度、大阪府S A連協に加盟しましたが様々な活動をコラボで実施できる体制ができあがりつつあると思います

◆ ◆ 第18期通常総会開催の報告 ◆ ◆

報告者：大川 正彦

平素は当法人の運営に格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

第18期通常総会は令和6年6月1日以下の内容にて開催させて頂きました。

総会は、議長＝長澤 慎治(理事)で開催しましたので報告致します。

- ・期日 令和6年6月1日(土) 午後1時30分～2時30分
- ・場所 大阪ボランティア協会 会議室

正会員数20名中(出席11名、委任状9名)、計20名の承認を頂きました。よって1/2

以上の賛成により議決されました。

議案

- 第1号議案 第18期事業報告承認の件 承認 19 否認 0
 - 第2号議案 第18期決算報告承認の件 承認 19 否認 0
 - 第3号議案 第19期事業計画(案)の件 承認 19 否認 0
 - 第4号議案 第19期活動予算(案)の件 承認 19 否認 0
- ・詳細は ホームページ参照 <https://sanetosaka.com>
 ※ 参考会員 (正会員 20名・賛助会員 55名・計 75名)

18期総会後、変面京劇ショー実施。

		
長澤議長総会進行	村松理事長挨拶	二葉部長おもしろ算数教室説明
		
総会後の変面京劇-1	手づくりマジック	変面京劇-2

II 事業部 活動報告

1、伝承おもちゃづくり府民塾事業部

報告者：木下 政子

① 四天王寺「わか市」

第1日曜日 6月、9月、11月、12月、2月、3月の6回と特別に10月2回の合計 8回開催。「今月は何?」と笑顔で参加してくれるリピーターの親子も増え、楽しい会話が飛び交っていました。2回雨天中止になりましたが、その他は天候に恵まれたせいか、毎回参加人数が増えてきており、休憩する時間もないぐらいの盛況ぶりでした

② 「おもちゃづくり教室」

隔月第3火曜日 実施 6回 (大阪市立中央区民センターにて)
 就任1年目でバタバタしましたが、皆様のお陰で無事乗り越えることができました。講師の方々も快く引き受けていただき、楽しい研修会の時間を過ごせました。また、参加人数も少しずつ増え、笑顔あふれる教室となりました

2、おもしろ算数教室事業部報告

報告者：二葉 登代子

今年度は、大阪よみうり文化センターからの依頼による講座として、LIC はびきのでの活動が多くなりましたが、いずれも参加者の方々は「算数パズルは難しいものもあったが、楽しかった」と仰っておられました。LIC はびきのでは、「楽しいから、次回の募集での参加申し込みの勧誘をした」という方や「誘ってもらって良かった。楽しい」と、賑やかにおしゃべりが続きます。時間が 85 分と短いので、パズルを 1 枚減らそうと提案するが、「宿題が残る方が、自宅でもパズルを楽しめる」と、減らさないように言われます。楽しみながら「マジックの謎解きをする・パズルを解く・簡単な計算をする」に取り組む事により、脳を活性化することが出来ます。

現在は、パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動は、なかなか困難です。しかし、相変わらず「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。そこで、パズル体験が以前のように再開できるようになった時には、参加には、大きい溝となっている「参加すると頭を計られる」という感覚を除き、又は小さくするための工夫が必要です。

「清少納言知恵の板」に、現在は、新しい「ユークリッド知恵の板」をサポーターの方と協同で作成できました。これらの知恵の板が非常に人気です。

3、国際交流事業部 活動報告

報告者：村松 秀明

2023 年度の活動はオンラインによるミャンマー日本語学校との交流会、及び大阪大学ホストファミリープログラムでした。

①ミャンマー日本語学校（ヤンゴン）との交流活動

交流名称：「日本語で話そう」交流会

活 動 日：毎週木曜日 4：30～5：30

2023 年 4 月～6 月の第 11 クール（毎週月曜日実施）

2023 年 10 月～11 月第 12 クール（毎週木曜日実施）

2023 年 11 月～2024 年 3 月第 13 クール（毎週木曜日実施）

各クール 9 回～10 回実施

参 加 者：14、5 名（日本人 7 名、ミャンマー側 7 名、ミャンマー側コーディネーター 1 名）

交流内容：毎月のテーマに沿って最初の 15 分を参加者が一人 1 分程度話し、その後マンツーマンのグループに分かれ其々が話す。最終の 10 分程度をグループで話した内容の報告にする。

②大阪大学留学生ホストファミリー活動

大阪大学の方針により休止中であつたが 2023 年 11 月より再開

11 月 3 日の出会いの会からスタートし日本人 6 人、留学生 6 名それぞれのホストファミリー活動を実施致しました。

12 月 9 日全員での交流ランチ会を万博記念公園で開催。

4 広報部 活動報告

報告者：大川 正彦

1) 広報誌の発行

- ・ 広報誌「SA・ネット大阪ニュース」41号(総会特集)=2023年07月(年1回)を発行しました。
- ・ 「コーダイ」3Fの高大校友会PRコーナーに配架、SAネット大阪のチラシ等PR活用に努めました。

2) ホームページの推進

- ・ SAネット大阪事業部主催のイベント、関連組織イベント都度更新を行いました。

3) 関連団体主催のイベントに参加。

- ・ 「総合フェスタ 2023」・市立総合生涯学習センター大阪駅前第二ビル(大阪校修了生参加)
 - ・ 「コーダイフェスタ 15周年」(豊中文化芸術センター)
- 校友会メンバーとして参加、SAネット大阪府SA連協のコーナー設置PRに努めました。

4) 本部経費削減として ・ 郵送料の圧縮・ 広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。(ネット大阪ニュース41号=フットマークス様=20,000)

5) 新規事業で社会貢献・ 前期に続き今期も継続

- ① 「NPO おもちゃ学校(大阪校) 子供健全育成指導者養成講座」(毎月第二火曜日) 継続
 - ・ 4期生開講式記念講演：高大「子ども事業部」音田事業部長
 - ・ 前期同様、長澤校長挨拶、スタッフの自己紹介、受講生の自己紹介に続き授業に入る。
 - ・ 4期生閉校式 修了証書授与
- ② 夏休み子ども工作教室, 今期も夏休み実施しました。
- ③ 障がい者と高齢者のスポーツ交流 (障がい者スポーツボッチャ) 今期も実施。
- ④ 大阪万博共創チャレンジ「幸せの星」プロジェクト。 ・ 今期も継続実施。
- ⑤ 海外で日本語を学ぶ若者との国際交流 (オンライン交流) ・ 今期も継続実施。

伝承おもちゃつくり事業部

おもしろ算数教室事業部

国際交流事業部



おもちゃ学校(大阪校)



4期生閉校式



5期生開校式



◆ ◆ 第 19 期 事業計画 ◆ ◆

I. 第 19 期 総括事業方針

報告者：理事長：村松 秀明

コロナの影響が最小限になってきたところで当法人の理念「世代・国籍を問わず全ての
人々と連携して支え合う多文化共生社会の実現を目指す」という事を再度掘り下げて、
それぞれの活動を進めます。

- 国際交流事業部は外国人との交流だけに留まらず、様々な価値観を持った世代間の交流
や、ハンディキャップを持った人との交流を行う事で活動の幅を広げます。又 S A 吹田
の国際交流部や読売新聞の国際交流部ともコラボ活動を展開していきます。
- おもしろ算数事業部は認知症対策も前面に出し健康管理士会とのコラボ活動も実施し
ていきます。
- 伝承おもちゃ教室事業部はおもちゃ学校の修了生の加入を機に活動の幅を広げて、でき
る限り多くの会員さんが活動できるように、イベントや講習会など多くの機会を作って
いきます。
- 万博共創プロジェクトは 2 年目を迎え、S A 連協とのコラボで「幸せの星」の制作を一
層進めていき、プレゼント活動も他団体との連携で進めていきます。
作った方から訪日観光客に直接手渡せる場面を作っていきます。
・おもちゃ学校は 5 期目を迎えますが、期間中に如何に SA ネット大阪の活動の魅力を
伝え、修了後活動に参加して貰えるかという視点で講座を運営していきます。

II 事業部 活動計画

1 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動計画

報告者：木下 政子

① 四天王寺「わか市」

四天王寺境内で原則第 1 日曜日に開催される「わか市」は、野菜・飲食物・骨董品な
ど多種多様な店から、紙芝居などのイベントなどもあります。私たちの「おもちゃづく
り」は子供が簡単に作れて遊べるおもちゃを用意していますので、人気があります。但
しスタッフとして参加していただける方が、限られてきておりますので、より多くの方
の参加を呼び掛けていきたいと考えています

② 「おもちゃづくり教室」

奇数月第 3 火曜日に開催される「おもちゃづくり教室」は、数多くの先輩方から伝承
おもちゃを教えて頂いております。その作品をそのまま各地域の子供達に指導するだけ
でなく、今の子供たちにあったデザインや素材など工夫、改良していく必要もあると考
えています。参加者同士で気づいた点や工夫している点があれば、教えたり話し合い
ながら、お互いの技術が高めあえる「教室」になることを期待しています。

2 おもしろ算数教室事業部 活動計画

報告者：二葉 登代子

「如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えていま
す。参加していただけると、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の 4 本
柱 【食生活の改善】 【頭（脳）のトレーニング】 【運動習慣を付ける】 【質の良い

睡眠】の内の一つの役割【脳のトレーニング】を担うものと理解して頂けるでしょう。小学校のいきいき教室でも高い評価を得て、小学生相手の活動も広がっています。

当初の狙い「子どもには、考える力を養い、高齢者には脳の活性化を図り、認知症予防を図られる」と考えています。その上に、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。今後共に、サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

3. 国際交流事業部 活動計画

報告者：村松 秀明

コロナ禍の中での活動としてスタートしたオンライン国際交流活動ですが今期も継続致します。SA 吹田の国際交流部とのコラボを含めてミャンマーとの交流は継続します。大阪大学留学生ホストファミリープログラムの活動も参加メンバーは変わりましたが継続いたします。

またウクライナ避難民に対する支援活動を開始します。4月の準備期間、5月～7月のクラウドファンディングの実施。集まった支援金で8月以降に具体的な支援事業を実施します。ウクライナの人々との文化交流イベント、孤立を防ぐ為のウクライナ人同士の交流イベント、Yolo Japan での外国人食堂への参画や日本語教育センターの日本語教室への参加を促したりして、彼らの就活が進むようにしたり、日本語のスキルアップに繋がるようにします。

4 広報部 活動計画

報告者：大川 正彦

方針：広報誌の発行と対外啓発活動（チラシ、ホームページ）を行い、NPO シルバーアドバイザーネット大阪のファンづくり又新規事業による収支の良化、新人導入による世代交代を図る 事等を支援継続します。

1) 広報誌の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、42号（総会特集）令和6年7月の発行予定。
 - ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いします。
 - ・会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り新会員に発信します。
- ②各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

2) 啓発活動

高大校友会のPRコーナー（3F）のラック2024年度は閉鎖新規媒体を考える関連団体行事の「コーダイフェスタ」「コーダイジョイフルゲーム」大阪区民、大阪府民カレッジ修了式等に府SA連協事務局と共同で参加し、PRブースで資料でのSAネット大阪、SA連協のPRに努めます。

3) ホームページの推進

- ①SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」「おもちゃづくり教室」「おもちゃ学校（大阪校）」等の各事業部の活動アップ、資料更新と引き続き「事業部トピックス」の充実で、定期的なホットニュースを発信いたします。
- ②「SA ネット大阪ニュース」42号＝令和6年7月（総会特集）をアップします。
- ③関連団体のNPO大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告

を更新します。

④新規事業トピックスを更新又、「クラウドファンディング」コーナー設置

※クラウドファンディング（群衆、資金調達）

4) NPO 新規事業、広報として支援

①NPO おもちゃ学校（大阪校）＝ 子供健全育成指導者養成講座 継続実施。

・ 令和 6 年 4 月 5 期受講生 32 名

②夏休み子ども工作教室・令和 6 年 7 月募集 継続実施。

③万博共創チャレンジ「幸せの星」 継続 実実施。

④オンライン国際交流 継続 実施。

⑤ウクライナ支援 「クラウドファンディング」企画実施。

※新規事業＝「人、物、金」へのチャレンジ 支援

 <p>ウクライナ支援事業 新規</p>	 <p>おもちゃ学校（大阪校）継続</p>	 <p>障がい者とのスポーツ交流会</p>
 <p>小学校夏休み工作教室継続</p>	 <p>万博共創チャレンジ 「幸せの星」継続</p>	 <p>オンライン国際交流継続</p>

◆ ◆ 18期役員名簿 ◆ ◆

2024年6月1日～2025年5月31日

2024年度役員		
役職	氏名	兼任状況
理事（理事長）	村松 秀明	大阪府 SA 連協 理事長
理事（副理事長）	大川 正彦	SA 藤井寺 会長
理事（副理事長）	二葉登代子	SA 八尾・柏原 会長
理事	武内 信憲	
理事	島田 道子	SA 守口 会長
理事	森川 加也	
理事	渡邊 耕平	大阪区民カレッジ 理事長
理事	長澤 慎治	SA 吹田おもちゃ事業部長
監事	手塚 之博	SA 吹田 会長

18期役員 2024年（令和6年）



◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-②⑨

報告者 認定NPO 高齢者大学校
 運動スポーツ健康科
 2期修了生 島野哲司

スポーツ・レクリエーション指導者として

成人の週一回以上のスポーツ実施率は52.3%で、それを70%に引き上げようというのが、我が国の目標数値です。文部科学省「スポーツ実施状況等に関する世論調査」（令和4年度）運動を長く続けるポイントは3つあると思います。

① 何時でも、どこでも、誰でもできる運動

② 楽しさ「レクリエーション」を取り入れた運動「楽しいことは楽」

③ 小さな目標を持ってする運動、プラスあまり「頑張りすぎないこと」です。

私は、子供からシニア世代までの人達と、軽いスポーツを通じて交流をさせていただいています。

今回ご紹介するのは、フィンランド発祥の気軽なスポーツ「モルック」です。木製の棒を（3～4m）先にある12本のピン（スキットル）目標に投げ、ピンの倒れ方で得点が決まります。1本だけ倒した場合、ピンに書かれている数字が得点、複数以上倒した時は、倒れたピンの数が得点になります。倒れたピンはその場で立て直し次のチームが投げます。これをチーム交互に投げて、ジャスト50点になったチームが勝ちます。但し、50点をオーバーした場合は25点に減点されます。ルールは非常にシンプルで、今すぐ始めてもシニアが若者にも勝てるスポーツです。気の合った仲間やファミリーで楽しんでみてはいかがでしょうか。

※日本で初めて、8月23日～25日まで、北海道函館市で「世界大会」が開催されます。



